

第 69 年度（令和 4 年度）事業計画書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

大阪市中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

令和4年度事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

1. 研究助成金の交付

◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を候補者として選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

◇「特別研究助成」

近畿2府4県以西を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考の評決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

2. 研究成果報告

- ・「第41回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催し、研究成果を口頭で報告してもらう。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

3. 助成の募集

- ・「令和5年度特別研究助成」の公募を行う。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

- 1) 研究助成（全国対象：50万円/件・年）：
4年目：5件、3年目：5件、2年目：5件、新規：5件
計 20件 計 1,000万円
- 2) 特別研究助成
（近畿2府4県以西対象、250万円/件・年）：
2年目：4件、新規：4件
計 8件 計 2,000万円
- 総計 28件 計 3,000万円を交付予定**

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

2. 第41回研究助成発表会の開催

令和4年7月15日（金）午前10時30分から
於 ヒルトン大阪（大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8）
プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、平成30年度新規「研究助成」交付者および令和2年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：300万円

3. 助成の募集他

「令和5年度特別研究助成」の募集テーマ・募集要項を決定し、公募する。
また、選考委員会を開催し、研究助成及び特別研究助成の審査・選考を行う。
採択数は研究助成5件、特別研究助成4件程度の予定。
特別研究助成は、令和3年度よりWebシステムで募集している。

これら公益目的事業推進費：636万円

4. 設立70周年記念事業に向けた検討

70周年記念事業に向けて、スケジュールおよび実施内容の検討を行う。

以上

令和4年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件50万円×20件=計1,000万円)

助成	所属(申請時)	研究者名	研究テーマ
4 年 目	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関する因子の検討
	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメーjingプローブの創製とその応用
	日本医科大学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) / 共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開
3 年 目	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
	徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明
2 年 目	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室	大喜多 守	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究
	北海道大学大学院先端生命科学研究院	北村 朗	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロン RNA の実証
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	久米 利明	新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究
	岐阜薬科大学	田原 耕平	粘膜バリア突破型微粒子による革新的 DDS の創製と細胞機能制御
	三重大学 大学院医学系研究科 統合薬理学分野	西村 有平	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索
新 規	東京大学 大学院薬学系研究科	上野 匡	機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化
	広島大学 両生類研究センター 発生研究部門 発生再生シグナル研究ユニット	鈴木 厚	誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	南部 寿則	高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用
	大阪大学大学院 基礎工学研究科	久木 一朗	ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性キラル多孔質結晶材料の開発
	日本大学文理学部生命科学科	安原 徳子	核輸送因子 importin α の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明

◆ 特別研究助成 (1件250万円×8件 = 計2,000万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ	
2 年 目	薬学系	大阪大学大学院薬学研究科	樋野 展正	がんゲノム変異により異常をきたすタンパク質間相互作用の効率的同定と新規創薬標的の探索
	薬学系	京都府立医科大学大学院医学研究科	大庭 誠	がんの核酸医薬治療を目指したペプチド材料の開発
	医学系	神戸大学医学部附属病院	福本 毅	Hippo-YAP 経路によるメラノサイトの老化制御のがん化進展における役割の解明とその新規作用点を標的とする独創的治療戦略の開発
	医学系	公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院	稲野 将二郎	ユビキチン化酵素融合 nanobody から創り出す、新しい細胞内分子標的がん治療
新 規	薬学系	九州大学 大学院薬学研究 院疾患制御学分野	仲矢 道雄	線維化関連難治性疾患の創薬標的分子の同定とその治療応用
	薬学系	大阪大学 大学院薬学研究 科	武村 直紀	細胞外微粒子による炎症応答を抑える高活性化合物の機能解明と間質性肺炎治療への応用
	医学系	川崎医科大学 医学部 分 子遺伝医学教室	大友 孝信	小胞輸送障害により生じる新規疾患の病態解明と、幅広いリソソーム病治療法開発への応用
	医学系	大阪大学 大学院医学系研 究科 創薬神経科学共同研 究講座/分子神経科学講座	糸数 隆秀	生体内異種細胞間相互作用に着目したパーキンソン症候群新規治療ストラテジーの創出

第41回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 令和4年7月15日(金)10時30分から16時30分

場 所： ヒルトン 大阪

大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8

※講演順、演題等は変更となる場合がございます。

10:30-10:35 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演25分、討論10分)

座 長

10:35-	1. オミックス解析による抗腫瘍薬の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究 前川 京子 先生 (同志社女子大学薬学部)	佐藤 公道 先生
11:15-	2. 慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割 鳥羽 裕恵 先生 (京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野)	宮崎 瑞夫 先生
11:50-	昼 食 休 憩	
12:35-	新規助成者ご紹介	
12:55-	3. 電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定 井上 剛 先生 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)	桐野 豊 先生
13:35-	4. 胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明 登美 斉俊 先生 (慶應義塾大学薬学部)	寺崎 哲也 先生 代 理 玉井 郁巳 先生
14:15-	《特別研究助成》 5. 家族性高コレステロール血症におけるPCSK9の意義の解明 堀 美香 先生 (名古屋大学 環境医学研究所 内分泌代謝分野)	塩野義製薬(株) 研究員
14:50-	休 憩	
15:10-	《特別研究助成》 6. アルツハイマー病に対する自己幹細胞由来免疫細胞を利用した細胞性医薬品の開発 高田 和幸 先生 (京都薬科大学統合薬科学系)	塩野義製薬(株) 研究員
15:50-	《特別研究助成》 7. 中枢疾患創薬を加速する全脳細胞解析による不安障害の標的分子の探索 笠井 淳司 先生 (大阪大学大学院薬学研究科)	塩野義製薬(株) 研究員